

平成 30 年北海道胆振東部地震にて被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます

当院は 9 月 6 日に発生した停電に際して、在宅人工呼吸器・在宅酸素療法・在宅吸引などを使用し自宅での介護に電力供給が必要な患者さまの入院受入れを行いました。皆様のご協力もあり、入退院に際して大きなトラブルなく経過いたしました。

現在、道内電力は概ね復旧いたしましたが、供給量は窮迫しており計画停電の可能性が否定できない状況にあります。

今後、計画停電が実施されることとなり当該地域に在住の場合は、一時的な入院も含めて対応いたしますので当院にお問い合わせいただけると幸いです。

停電時の耐用時間の目安は以下の通りとなります。

①在宅人工呼吸器

機種・外部バッテリーの有無によって差がありますが概ね 4～6 時間となっています。

②在宅酸素療法 (HOT)

酸素流量や予備ポンベの有無により患者さまごとの差が大きく一概に言えません。

事前にメーカーなどにおおよその時間を問い合わせることを推奨します。

③在宅吸引器

使用頻度や機種によりこちらも差が大きく一概には言えません。

事前にメーカーなどにおおよその時間を問い合わせることを推奨します。

上記については、いつでも何でもご相談ください。

問い合わせ先

国立病院機構北海道医療センター

神経内科医師 網野 格

主任臨床工学技士 阿部 渉

TEL 011-611-8111